目標を失つた政治

第六十議會を二週間の目の前に見ながら、政界の空氣は依然沈滯して濁つたまゝで動かない。よどんだ空氣を入れ替へることは出來ないまでも、少くも動かすことだけは出來さうだつたかの協力內閣運動も、表面は沈靜した形になつて、無氣味にして不快なる空氣は增しはしても減じはしない。それは政府なり民政黨なりの側のみではない。國民の政治的關心の外に出てしまつてゐる、無產黨や國民同志會においても、嚴然たる第二黨である政友會の側においても、同じことである。

結局は政治がその目標を失つてしまつたのである。軍事のかゞやかしき光に、政治がその色を失ひ、その色合の差をなくしてしまつたとも見られるが、たゞそれだけではない。總選擧にかゝげた、非募債主義と、國民負擔輕減と、軍備縮減と社會政策とによつて獲得した絕對多數が、その看板に偽りあることを暴露したと同時に、その威力を失つて、ぬけがらの多數となつてしまつたのである。非募債と負擔輕減とで集めた絕對多數の議員によつて、三億の公債と、四千萬の增稅とを議決せしむることは、約束したる政策の斷行を前提として成立つ政黨政治と議會政治とを、政黨內閣自身が否定するものではないか。

總選擧に呼びかけたすべてが虛僞であり、あるひは客觀的狀勢の變化によつて、正反對にでもなるものであるとするならば、絕對多數も無意味であり、政黨內閣も、議院政治も、その根底からくつがへつてしまふのである。そこには國民の意思による政治もなければ、國民の政治的目標を根こそぎ奪ひ去るにひとしい。こゝにおいてか政黨政治、ひいては議會政治否認的政治思想が、公然たい頭せんとするの氣勢を示してゐることの蔽ひ難きものがある。憲政擁護運動と、普通選擧制度實施によつて、立直らんとした議會政治の信用と、國民の政治的關心が、再び背き去らんとするの狀勢を示してゐるのである。

軍事のあとを息せき切つて追ひかけてゐるのは外交ではないし、赤字に追ひかけられて、赤字のあとを埋めることだけに努力するのは財政ではない。議會を無事に通過するために、重要法案はださない。大がかりの審議會を作つて、民政黨の重大政策だと呼號した選擧法改正に關する法案も、勞働組合に關する法案も、提出することさへもせず、これを撤回しないだけの理由をなす國家重大時機に處する對策も議會に問はないといふのでは、そこに何の意味の政府があり、議會があり、政治があるのか。

たゞ政權維持を意味する現狀維持は、このまゝでは離れ去らんとする政權を維持せんとする者と、獨力では捕へられない政權を獲得せんとする者との間の協力と同樣に、國家の政治に對しては一の加ふるものもない。協力して何をしようとするのかが國民の前に、まづ明かにされることを必要とすると共に、國民がうみ果てた現狀を、更にそのまゝ維持してゆくのでは、現內閣これを欲するも、國民はこれに堪へられない。若槻內閣の現狀維持が、不景氣と赤字の現狀維持ではなく、及び沈滯の現狀維持では、決して無い所以を、國民に示さなければならない。かつて原敬氏は政治は力だといつた。若槻氏はこれに對して、政治は正義だといつた。然るに今や政治は力でもなく正義でもない。現在の政局の沈でん狀態は、政治がその信用と目標とを失つて立ずくんだ姿に過ぎぬ。現狀維持も協力內閣も、憲政常道も、形式的論理によつて片づかぬ所以がそこにある。

馬占山の本據

海倫の橫顏

生れて僅か廿年

特產「大豆」は黑龍江軍の金びつ

【ハルビンにて橋本特派員九日發】

灰色の街海倫――敵のたゞ中に銃劍をピカピカ光らせてゐる海倫によくぞ一片の武器もなく乘込んだものだ、ハルビンの宿舍で始めて笑ひが出たこつちも死物狂ひ、悲壯な顏付をしてゐたが、相手の海倫市民も眞劍だつた、顏に顏を見せた馬占山軍參謀長謝珂は硬直して足許が狂つたほど無謀の訪問に度膽を拔かれたらしい、海倫驛は赤煉瓦の堂々たる歐羅風の建物、黑龍江軍兵の黑外套は珍妙な對照であつた北滿の驛はどうしたわけか街とはとても離れてゐる、この街も驛から九支里もあるので驛だけかと旅人は面食らはされる

海倫の街は生れてから二十年位だといふ、新しい街だけに道路は支那街らしくなく廣いが凹凸が畝のやうに氷結してゐる、石山を步くやうなぎごちなさだ

建物は清朝風の安つぽいもので、裝飾のためらしく日本の五重塔のやうないかついものが商店の前にそびえてゐる、馬占山は本陣として街の建設に努力してゐるので、野原で生れてから僅か二十年の海倫が現在面積一里四方に人口五萬人を數へ、眞四角な交通路のよくとれた支那街である

軒にぶらさげてゐる大きなこひの形をした看板は飲食店であるさうな、この街は南滿洲の街と異つて、城壁をもつてゐない、ロシアの影響も建物文化の上には認められず、純粹の黑龍江風だ、街のどの道にもどう猛な蒙古犬がひやうかんな尾を振つてゐる、この街の人は今まで

自動車といふものの存在を夢にも知らなかつたのだが、馬占山がチチハルから逃げて來た時十數台の自動車を徵發して乘込んだので、太陽が夜中に現れた程驚いた、この自動車のお陰で敗殘の將馬占山が却てこの地方で成功を遂げたといふのだから愉快な話である、わが車の飛行機が市街の上を輕く回つた時、魔物が來たのだと一日中家の中に隱れて顏をださなかつたといふのも、もつともな話だらう、女の影は街中どこにも見ることが出來なかつた、現在馬軍はこの町の內外に五千人、武裝のまゝ駐屯してゐるとの話で、街の隅々にまで黑服の兵士が銃劍を擬つて立つてゐる、北滿の富を一手に引受けてゐるので商業は中々盛んだ

綿布工場は十ケ所、油坊三ケ所どの荷馬車も大豆袋をうんと積んでたくましい苦力が手綱を握つてゐる、高りやうは南滿に敵はぬが、大豆は黑い北滿の地が肥料なしであきれ返る程生み出す、齊克鐵道の終點克山と共に黑龍江軍の金びつだ

馬占山の邸宅は街の中央に近い廣信油房といふ黑龍江省經濟の製油工場で、三町四方位の堂々たる建物だ、石垣を回らした同邸內には衞兵五百人で馬占山を守つてゐる、海倫は暗い灰色の街だが、特產物のお陰で中々活氣を呈してゐる

寫眞班に剣付鐵砲

【ハルビン角野特派員九日發】

文化といふもの
倫で寫眞を撮
難事であつた
速鐵警備の兵
をさめようよ
知しない、無
カメラを向け
て來たのには
ざるを得なか
日本人は珍
も持つて居
い、マグネ
は全く不可
ん光器を目
したが戒嚴
らせぬとの
のであらう
まゝ化して
一通りでは
のやかまし
で二三十分
らせると、
る警備兵を
れたかつた
らせなかつ
も拜んでも
直ぐ剣付鐵
寫眞を撮る
しまつた。
を憲兵團

本社主催

同情週間百家族救濟

各宮家から スタンプ御買上げ

同情スタンプ 五千枚 御買上あらせらる

各宮家におかせられては本紙の歲末同情週間の催しに際し、右週間御奬勵の御思召をもつて本月の御當番たる北白川宮家に本社員を召され、昨年、一昨年同樣「同情スタンプ」御買上の御さたを賜はつた
秩父宮家、高松宮家、閑院宮家、東伏見宮家、伏見宮家、山階宮家、賀陽宮家、久邇宮家、梨本宮家、朝香宮家、東久邇宮家、北白川宮家、竹田宮家、李王家

各方面委員の報告

肺患者が働く

（第廿一ケース）府下下板橋二三七自轉車職山下雄之助さん（三四）は妻よね（三三）との間に長男太郎（七つ）二男次雄（五つ）三男正三（三つ）四男力（一つ）長女さわ（一二）この五人の子供と叔母わか（七二）を抱へてゐるが何分六七年前から肺を患くし暫くは病身を振ひ起して自轉車修繕で仕事をしてゐたが去る十月頃からは床についてしまつた飢ゑたる七十二歲の叔母さん五人の子供を眼の前にして雄之助さんは高熱をおして友人の家から五十錢一圓借り步いたがもうどうにもならない有樣である（N・T補導委員調査、所要月額三十圓）

廢疾者を抱へ納豆賣り

（第廿二ケース）下谷區入谷町納豆行商伊藤たけ（三二）は昨年夫に死なれ長男太一（二三）長女その（二〇）三女きく（一七）五女うた（一三）孫ともゑ（七つ）の六人暮し長男太一は廢疾で全く仕事が出來ずふらふらしてゐるので自分は納豆おでんの行商をして步き三女きくが工場に勤むる月五圓位と長女そのの奉公先きからの仕送り月五圓でやつと生計をつないで居る（S方面委

員調査、所要月額二十圓）

中風病の老人と子供

（第二十三ケース）深川區本村町市營住宅山本一郎さん（七七）は妻はな（五〇）長女さえ子（九つ）の三人家族だが何しろ老人の主人でどうにも困つた暮し向きのところに中風にかゝつたので、妻はなは一家の生計に內職をして夜もおそくまで働いてはゐるが、これとて僅か十錢十五錢の收入、それに病夫の大小便の世話までせねばならず、尋常一年生の長女さえ子は學校から歸ると病父の看護の手傳ひをしてゐる有樣である、方面委員も氣の毒がつて學校の方は授業料免除の手續きをとつてやらうといふが、母親は淚ながらに「せめて子供だけは世間に肩身のせまくない樣にしたいのです」と斷る有樣である（E・Y補導委員調査、所要月額金十五圓）

氣の毒な母娘

（第二十四ケース）府下千住町仲町に石田つやさん（五〇）同次女よし子さん（二七）といふ母娘二人の家族がある、父親は長い病氣の末二年前死亡、母親のつやも心臟病からこれも床について了つて今日まで全快の見込みはない、よし子さんは姉さんと二人娘ながらも力を合せて病める母親をはげまし働いてとにかく細々と生計を立てゝゐたが、姉もまた病床に倒れて了つた、妹のよしさんは母と姉の藥の爲、食ふ爲に懸命に働き續けたがそのかひも無く姉さんは六ケ月の病床にこれも死んで行つたよし子さんは病める母と相抱いて悲歎にくれたがお父さんの丈夫な頃潤德高等女學校を卒業した娘さんだけに勇氣をだして青物屋を開いたが客がほとんどなく失敗に失敗を繰返してゐる（T・S補導員

調査、所要月

病め

（第二十
區業平橋山田
上野まさ（
郎さんは元
の春からの不
方なので立ち
は家財一切を
本に一旗擧げ
が、それはさ
婦紙風船をは
の收入を得
來たが、去る
かゝつて再び
せぐ月三圓で
にもならない
導員調査、所

悲慘

（第二十
王子町豐島
（　）長女まつ
る、老夫婦は
れながら不
の長女まつ
れでも五郎
暮しに笑の
が昨年十月
いて了つた、
自由がきか
しかばね同
（I・S補導
二圓）

藥代費に

（第二十
區市ケ谷上
これからとい
立つ事が出來
（　）との間に
まさ（八つ）次女く
がゐる、身
の仕送りはあ
代と五人家族
ずがない（
要月額金十五

內職

（第二十
西新井町本木
うた（　）弟
同さきの五人

日本男子水上新記錄

昭和六年度の成績

日本水上競技聯盟發表

日本水上競技聯盟では九日次の通り昭和六年度男子新記錄を公認發表した、その數三十六、昨年度の六十二に比すればその數においては劣つてゐるが記錄としての價値はいづれも世界水泳界を脅威する大記錄であり、明年のオリムピックにおける輝しい結果を約束するものである（×印は二十五米プール、他は全部五十米プール、○印は日本記錄、對は日本對記錄、外人のものは日本國際記錄、他は全部日本記錄で同時に日本國際記錄である【◎印は世界記錄】

時間	姓名	會名	場所
50米自由型			
○ 26秒4	宮本（早大）	早・關	神宮
100米自由型			
59秒2	宮崎（濱名灣遊協）	神宮	神宮
200米自由型			
2分15秒4	橫山（稻泳會）	神宮	同
2分16秒0	カリリ弟（米國）	日米	同
2分16秒2	ギルフラ（米國）	日米	同
2分16秒4	橫山（稻泳會）	神宮	同
對2分16秒8	高石（日本チーム）	日米	同
500米自由型			
6分22秒6	橫山（日本チーム）	日米	同
6分22秒8	牧野（東部中等チーム）	東西中等對抗	大阪築港
6分26秒8	牧野（見付中）	東西優勝校	同
800米自由型			
◎10分16秒6	牧野（東部中等チーム）	東西中等對抗	同
10分20秒6	牧野（見付中）	東部中等校	神宮
10分21秒4	牧野（見付中）	東西優勝校	大阪築港